

プロフィール

下村 健一



現職 白鷗大学 客員教授

- ◆ 「市民がつくるTVF (東京ビデオフェスティバル)」 理事
- ◆ ネット放送局「OurPlanet-TV」 副代表
- ◆ 同「8bit News」 アドバイザリーボード 一等

経歴

1965年／5才でミニコミ紙『としちゃんタイムス』を創刊。以後、小中高校で、放送部・学級通信・生徒会新聞などのローカルメディア制作に関わり続ける。

84年／都市型CATVの旗揚げ第1号『町田市民テレビ』開局準備スタッフ

85年／TBS報道局アナウンサーに。（フリーキャスターまで通算25年、「筑紫哲也NEWS23」「サタデーずばッと」等に出演）

96～99年／TBSニューヨーク支局勤務、米国の市民メディア事情を目撃

99年／TBS退社、「市民メディア・アドバイザー」と自称し活動開始。並行して、情報教育活動にも着手（東京大学客員助教授など）。

2000～09年／TBSラジオのレギュラー番組『下村健一の眼のツケドコロ』で、日本の市民メディア活動を度々紹介。特に「メディフェス」は、ほぼ毎年採り上げる。

09年／「メディフェスTOKYO」代表委員団の一員

10年／内閣審議官に着任。民主・自民の3政権で約900日間、内閣広報室で、首相官邸の情報発信に従事。東日本大震災発生後は、官邸から避難所掲示用壁新聞や被災地配信用ミニFMラジオ番組「震災情報官邸発」を毎日制作。

13年～／慶応大学特別招聘教授、関西大学特任教授などを経て、現職。

主著

- ◆ 『10代からの情報キャッチボール入門』／岩波書店
- ◆ 仕掛け絵本『窓をひろげて考えよう』／かもがわ出版
- ◆ 『首相官邸で働いて初めてわかったこと』／朝日新書
- ◆ 小5国語教科書（書き下ろし）「想像力のスイッチを入れよう」／光村図書